

一般医療機器

機械器具（58） 整形用機械器具
整形外科用バー JMDN コード：36249001
プレジジョンドリルXL

【形状・構造及び原理等】

材質：ステンレス鋼



<原理>

外科用ハンドピースに装着し、使用の際、外部注水にて十分な生理食塩水の注水下で適正回転数にて使用する。

【使用目的又は効果】

本品は、植立孔入口を形成する際に使用する。なお、本品は再使用可能である。

【使用方法等】

外科用ハンドピースに装着し、本品を回転させて使用する。

【使用上の注意】

- (1) 本品は、使用前に必ず口腔外にて、破損などの支障がないことを確認すること。
- (2) 術後は、使用、未使用にかかわらず所定の消毒・洗浄・滅菌を行うこと。
- (3) 製品の仕様は改良のため、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- (1) 購入時は未滅菌の為、使用前に必ず洗浄・滅菌を行い、次回からの使用時にも同様にすること。
オートクレーブ可 121℃で20分間
- (2) 本品は、使用するまで常に滅菌後の汚染に注意し、手指・未滅菌の器具などで直接触れないこと。
- (3) 本品を使用中に機能の異常や、汚染したおそれのある場合には、すぐに使用を中止し、新しいものと交換すること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- (1) 湿度が低く、清潔な場所に保管すること。
- (2) 錆びるおそれがあるため水分が付着したまま保管しないこと。
- (3) 本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

- (1) 腐食（錆）の原因となるので、次亜塩素酸ナトリウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、ポビドヨード、ホルマリン・フェノール、グルコン酸クロルヘキシジン、強酸性水、家庭用洗剤等は使用しないこと。
- (2) 乾熱滅菌は、高温になり劣化の原因になるので使用しないこと。
- (3) オートクレーブ滅菌の場合、条件によっては滅菌バッグが湿った状態で乾燥工程が終了することがあり、その際、滅菌バッグと本品が接していると錆が発生する原因となるので、必要に応じてドライヤー等で強制乾燥を行うこと。
- (4) 錆びた器具は、汚染を引き起こす可能性があるため、錆びていない器具と一緒に滅菌しないこと。
- (5) 錆びるおそれがあるため次のことについて留意すること。
 - ・最終洗浄は精製水を使用すること。
 - ・湿度が高くて自然乾燥に時間を要する場合にはドライヤーなどで強制的に乾燥させること。
 - ・汚れ、水分、洗浄剤などが付着したまま滅菌しないこと。
 - ・オートクレーブ滅菌の場合、精製水を用い、水道水は使用しないこと。
- (6) 不具合については、販売元へ問い合わせること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者

株式会社デンテック
〒174-0053 東京都板橋区清水町 53-5
TEL：03-3964-2011
FAX：03-3962-5624

2. 販売業者

合同会社Y's DEVICE
〒135-0091 東京都港区台場 2-2-2-2503
TEL・FAX：03-3529-0895